

地域における地球温暖化防止活動促進事業実施報告書

事業名	地域における地球温暖化防止活動促進事業				
事業実施の団体名	公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク				
＜事業の目的＞					
<p>本事業は、地球温暖化対策の推進に関する法律（平成10年法律第117号）により地域地球温暖化防止活動推進センター（以下、「地域センター」という）が実施する、地域における国民の日常生活に関する温室効果ガスの排出実態に関する地球温暖化防止活動推進員も活用した調査、情報収集、普及啓発、地域関係団体との連携等の事業であって、エネルギー起源二酸化炭素の排出の抑制に資する事業を実施することを目的として実施した。</p>					
＜事業の内容＞地球温暖化対策の推進に関する法律第24条関連等の事項					
<p>①【地域における地球温暖化の現状及び対策の推進状況等の啓発・広報業務】（第24条第2項第1号前段） 当該地域における県民の日常生活に関する温室効果ガスの排出実態について、調査実施および結果の周知・広報や実践活動への展開を図るとともに、温室効果ガスの削減効果や行動変容等について評価を行った。</p> <p>(1) 県民の日常生活に関する温室効果ガスの排出実態の情報提供や温室効果ガス削減に関する啓発・広報活動を行うため、地域イベントへの出展や環境講座等への講師派遣を行った。 地域イベントへの出展：22回実施、のべ1,100名来場 環境講座への講師派遣：12回実施、のべ875名受講</p> <p>(2) 啓発・広報活動による削減効果や行動変容をアンケート等で評価する。 アンケート実施回数：10回、のべ236名 ※内訳 1) 地域イベントでの統一アンケート：4回実施、のべ117名回答 2) 推進員研修で推進員を対象に実施した統一アンケート：1回実施、のべ14名回答 3) 地域イベントでの当センター独自アンケート：5回実施、のべ105名回答</p>					
＜地域イベントでの活動＞					
	開催日	イベント名	出展内容	活動した推進員名	アンケート
1	2015年 6/13(土)	せんだいE-Actionイベント「3Eを始めよう！」	パネル展示、行動変容アンケート、うちエコ診断(簡易)、エコドライブシミュレーター	小室正博氏、菅原健二氏、井上正志氏	独自アンケート
2	2015年 7/19(日)	学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ2015	省エネゲーム、手回し発電機型ぬいぐるみ、〇〇ボックス	川村真貴氏、今野勇氏、佐々木義朗氏、千葉きえ子氏	
3	2015年 7/19(日)	エコチャレンジフェスタ in ユアスタ仙台	パネル展示、行動変容アンケート、うちエコ診断、エコドライブシミュレーター	小室正博氏、井上正志氏、稲田陽一氏、薄井聡氏、西村和敏氏	独自アンケート
4	2015年 7/25(土)	水道フェア	アクリルたわしづくり	江戸亨氏、澤田裕子氏	
5	2015年 9/6(日)	はやぶさ祭り	手回し発電機型電球比較装置、エネルギーのかばん、夜の地球儀、パネル展示、行動変容アンケート	佐々木義朗氏、田高修一氏	独自アンケート
6	2015年 9/23(水・祝)	魅力いっぱい！交通フェスタ2015	パネル展示、CO2排出ランキングゲーム、行動変容アンケート、エコドライブシミュレーター	江戸亨氏、小室正博氏、佐々木一郎氏	独自アンケート
7	2015年 10/4(日)	しちがはま環境フェスタ	パネル展示、行動変容アンケート、うちエコ診断、エコドライブシミュレーター	川村真貴氏、塚崎隆夫氏、稲田陽一氏、江戸亨氏、薄井聡氏	独自アンケート

8	2015年 10/11(日)	りふ環境まるごとフェア	パネル展示、手回し発電機型電球比較装置、マイタンブラー作り、うちエコ診断、エコドライブシミュレーター	稲田陽一氏、小室正博氏、田高修一氏	統一アンケート
9	2015年 10/18(日)	大河原オータムフェスティバル	パネル展示、エコドライブシミュレーター	小室正博氏、田高修一氏	統一アンケート
10	2015年 10/24(土)	エネサンス東北 お客様大感謝祭	パネル展示、うちエコ診断	小室正博氏	
11	2015年 10/25(日)	せんだい地球フェスタ2015	パネル展示、エネルギーのかばん、夜の地球	千葉きえ子氏	統一アンケート
12	2015年 10/25(日)	Wa!わぁ祭り 2015	パネル展示、うちエコ診断	薄井聡氏	
13	2015年 11/14(土)	秋の感謝祭 2015	パネル展示、うちエコ診断	—	
14	2015年 11/21(土)	角田市環境フェスティバル 2015	パネル展示、うちエコ診断	井上正志氏、川村真貴氏、佐藤郁子氏	
15	2015年 11/29(日)	環境フォーラムせんだい 2015	パネル展示、うちエコ診断、エコドライブシミュレーター、統一アンケート	川村真貴氏、佐々木義朗氏、井上正志氏、田高修一氏	統一アンケート
16	2015年 12/14(月)	シティホール古川リニューアルオープン記念フェア	パネル展示、うちエコ診断	—	
17	2015年 12/20(日)	シティホール古川リニューアルオープン記念フェア	パネル展示、うちエコ診断	—	
18	2015年 12/26(土)	エコチャレンジフェスタ in 仙台市体育館	マイタンブラー作り、うちエコ診断	井上正志氏、西村和敏氏、表伸也氏、庄子良二氏、田高修一氏	
19	2016年 1/16(土)	地下鉄に乗って、星空と武将隊に会いに行こう	エッグキャンドルの絵付け、うちエコ診断、エコドライブシミュレーター	江戸亨氏、高橋晃氏	
20	2016年 1/31(日)	なっ得！発見！みやぎ環境フォーラム	パネル展示、うちエコ診断、エコドライブシミュレーター	佐々木義朗氏、薄井聡氏、塚崎隆夫氏、澤田敏翁氏、澤田裕子氏、田高修一氏、稲田陽一氏、井上正志氏、川村真貴氏、今野勇氏、千葉きえ子氏	
21	2016年 2/6(土)	89ERS エコデー	パネル展示、エコドライブシミュレーター	—	
22	2016年 2/28(日)	しちがはま環境フェスタ	パネル展示、〇〇ボックス	今野勇氏	



6/13 せんだい E-Action イベント



7/19 サイエンス・デイ 2015



7/19 エコチャレンジフェスタ



7/25 水道フェア



9/6 はやぶさ祭り



9/23 交通フェスタ 2015



10/4 しちがはま環境フェスタ



10/11 りふ環境まるごとフェア



10/18 大河原オータムフェスティバル



10/25 せんだい地球フェスタ



11/29 環境フォーラムせんだい



12/26 エコチャレンジフェスタ



1/16 地下鉄に乗って



1/31 みやぎ環境フォーラム



2/28 しちがはま環境フェスタ

<環境学習への講師派遣>

	開催日	主催	内容	派遣者名	受講者数
1	6/9(火)	名取市ゆりが丘公民館	エコってなあに？～エコについて考えてみよう！～	推進員（塚崎隆夫氏）	6名
2	6/23(火)	登米市環境課	エネルギーを学ぼう	宮城県センター職員	41名
3	7/23(木)	せんだい E-Action 実行委委員会等	身近な環境発見！「〇〇ボックスで遊ぼう！」	推進員（千葉きえ子氏、佐藤郁子氏）、宮城県センター職員	18名
4	8/11(火)	仙台市消費生活センター	エコでかわいい！自分だけのタンブラーづくり	宮城県センター職員	100名
5	8/22(土)	亘理町町民生活課	「わたり環境フォーラム2015」講演	推進員（今野勇氏）	200名
6	8/22(土)	亘理町町民生活課	「わたり環境フォーラム2015」親子向け環境教育講座	宮城県センター職員	40名
7	9/1(火)	三本松市民センター	自然災害と災害から身を守る講座	推進員（川村真貴氏、今野勇氏）	99名
8	9/14(月)	登米市環境課	エネルギーを学ぼう	宮城県センター職員	117名
9	10/13(火)	みやぎ生活協同組合	地球温暖化とわたしたちにできること	推進員（塚崎隆夫氏）	20名
10	10/22(木)	登米市環境課	登米市環境教育リーダー育成講座「温暖化を防ぐには？～私達にできること～」	推進員(千葉智恵氏)	15名
11	10/23(金)	福島県地球温暖化防止活動推進センター	福島県地球温暖化防止活動推進員養成研修会での宮城県推進員からの事例紹介	推進員(菊地ひろ子氏)	20名
12	11/20(金)	小松島小学校保護者（仙台市環境出前講座経由）	エッグキャンドル絵付け講座	宮城県センター職員	100名
13	2/28(日)	七ヶ浜町	しちがはま環境フェスタでの講演（地球温暖化・リサイクル）	推進員(今野勇氏)	45名
14	2/29(月)	登米市環境課	エネルギーを学ぼう	推進員(千葉智恵氏)	54名
合計					875名



6/9 エネルギーを学ぼう



7/23〇〇ボックスで遊ぼう！



9/1 自然災害と災害から身を守る講座



10/13 地球温暖化とわたしたちにできること



10/23 福島県地球温暖化防止活動推進員養成研修会



2/28 しちがはま環境フェスタ

- (3) 気候変動枠組条約締約国会議 (COP) 等の地球温暖化問題に関する科学的知見や国際会議等の世界の動向の最新情報について、県民へ普及啓発を行うことを目的としたイベントを2回開催した。
国際会議関連イベント開催：2回実施、のべ66名参加

1) 留学生と一緒に考えよう！温暖化×国際協力 ～パリ会議 現地と中継！～報告

日時：11月27日(金) 18:00～20:00

会場：フォレスト仙台5F 501会議室

内容：①開発と気候変動、②パリと日本との違い

講師：①鈴木洋一さん(CAN-Japan、OXFAM Japan)

②ラカイ・ギョームさん(フランス出身、東北大学大学院工学研究科修士2年)

参加者：16名

総括：2週間前にパリで起きた同時多発テロ事件の影響による Climate Youth Japan (CYJ) の COP21 派遣中止により、イベントで予定していた現地との中継も中止となった。代わりに、COP21 に関する動画や当日参加していただいた CYJ メンバーの服部拓也さんへのインタビューなどを行うことで、目的としていた現地の雰囲気や若者が COP に対してどんな活動を行っているかなどを伝えることができた。参加者からも自主的に質問が出されたり、感想を述べたり、関心の高さが伺えた。



事例紹介の様子



参加者同士で意見交換

2) COP21 (パリ会議) 報告会 in 仙台～「パリ協定」までの軌跡と、未来へ向けて私たちにできること～報告

日時：2月13日(土) 13:30～16:30

会場：TKP ガーデンシティ仙台 ホール B-2

内容：①講演『「パリ協定」への道とその成果～化石燃料から自然エネルギーへの大転換へ～』伊与田氏

②「パリ協定の歴史的意義と地域の課題」長谷川理事長

③パネルディスカッション

・事例紹介「COP21 と若者の関わり～Climate Youth Japan の活動事例を通じて～」藤田氏

・トークセッション

コーディネーター：長谷川公一

パネリスト：伊与田氏、藤田氏

講師：①伊与田昌慶氏(認定NPO法人気候ネットワーク研究員)

②長谷川公一氏(MELON 理事長、東北大学大学院文学研究科教授)

③藤田遼氏((東北大学大学院理学研究科/リーディング大学院 博士課程後期1年、Climate Youth Japan)

参加者：50名

総括：11月開催のプレイベントとほぼ同時で企画を進めたため、余裕をもった広報や準備をすることができた。各種イベントでの広報活動の甲斐もあり、当日は満席の来場者で盛況となった。報告内容を「結果」「市民社会の動き」「若者の関わり」の異なるテーマの報告を行うことで、メディアでは報道されない深い内容を伝えることができた。報告内容についての満足度が高かった一方で、報告部分に時間を多く配分したため、トークセッションのテーマの「未来に向けて」の内容を十分に伝えきれなかった点が反省点である。



講演の様子



パネルディスカッション

②【地球温暖化防止活動推進員の支援】(第24条第2項第1号後段)

推進員を活用する体制を構築しつつ、推進員に対する研修会の開催、推進員を講師とした地球温暖化対策講座の開催等を通し、地域に根差した地球温暖化の現状及び対策等についての啓発・広報を行った。

(1) 推進員同士のネットワーク作りや実践的な活動を行うためのスキルアップ、推進員活動活性化を目的とした推進員対象の勉強交流会を開催した。

勉強交流会の開催：4回開催、のべ76名参加

<開催概要>

	第1回	第2回	第3回	第4回
時期	8月23日(日)	10月31日(土)	12月5日(土)	2月13日(土)
テーマ	コミュニケーションワーク	地球温暖化と海	山形県推進員との交流	活動のふりかえり
出席者	15名	20名	16名	25名

1) 第1回推進員勉強交流会報告

日時：8月23日(日) 13:30~16:00

会場：TKP ガーデンシティ仙台勾当台

内容：コミュニケーションワークショップ(自己紹介のポイント、挨拶実習、会話実習トレーニング等)

講師：阿部育子氏(ストップ温暖化センターみやぎ副運営委員長、コミュニケーショントレーナー)

出席者：15名

総括：告知が一か月前だったことから参加者が少なかったのが残念だが、実習を交えたワークショップを通し、推進員活動の基本となるコミュニケーション・伝え方の手法と推進員としての心構えを学ぶことができたと思われる。



講師の阿部育子氏



限られた時間で多くの人と挨拶



二人一組で会話実習

2) 第2回推進員勉強交流会報告

日時：10月31日(土) 13:30~16:00

会場：TKP ガーデンシティ仙台勾当台 3F ホール3

内容：話題提供、〇〇ボックス

・「海洋の温暖化・酸性化～気象庁の観測から～」中村氏

・「地球温暖化と水産業」渡邊氏

・「キリバスのお話」オノさん

講師：・中村辰男氏(仙台管区気象台 気象防災部海洋情報調整官)

・渡邊一仁氏(宮城県地球温暖化防止活動推進員、宮城県気仙沼地方振興事務所水産漁港部水産業普及指導員)

・ケンタロオノさん(キリバス共和国大使館大使顧問)

出席者：20名

総括：推進員同士が交流する機会は少なかったものの、3名のゲストからの情報提供では活発な質疑応答がなされ、学びの多い会となったと思われる。



話題提供の様子



〇〇ボックス～海の恵み～体験

3) 第3回推進員勉強交流会報告

日 時：12月5日（土）10:00～17:30

会 場：山形エコハウス、山形ビッグウィング 4階研修室

内 容：1. 山形エコハウス見学
2. 山形県地球温暖化防止活動推進員との合同勉強交流会
アイスブレイク、ツール紹介、グループワーク

出席者：宮城県推進員16名、山形県推進員19名（山形県推進員は内容2のみ）

総 括：貸切バスでの移動による一日がかりの研修ということもあり不安もあったが、遅刻やトラブルなくほぼ予定通りに無事終了できた。会場が山形県だったため、今回は山形県センターに準備や当日運営など尽力していただけたことも、無事終了された要因として大きい。山形県センターとは企画から一緒に取り組んできたことで、センター間の繋がりもさらに強いものとなり、ストップ温暖化センターみやぎの活動の幅も広がった。推進員にとっても、他県推進員との交流は有意義で刺激の多いものであったようで、今後の活動の活性化が期待できる。



ペレットボイラーの見学



推進員作成ツールの紹介



両県推進員が混じりグループワーク

4) 第4回推進員勉強交流会報告

日 時：2月13日（土）11:00～16:30

会 場：TKP ガーデンシティ仙台 ホールB-2

内 容：1. 活動のふりかえり（午前）
・推進員による活動報告（菊地ひろ子さん、井上正志さん）
・グループワーク「課題の共有&解決」
2. COP21（パリ会議）報告会 in 仙台（午後）

出席者：午前18名、午後25名

総 括：午前と午後の2部制で開催した。午前のグループワークは推進員同士の交流ができたという感想が多く、短時間ではあったもののつながりを深める機会と出来たことが良かった。推進員の課題として、「知識をつけたい」「つながり作り」「伝え方を学びたい」「活動の時間がとれない」等が多く上がった。これらの課題を来年度の推進員支援事業の参考にしたい。



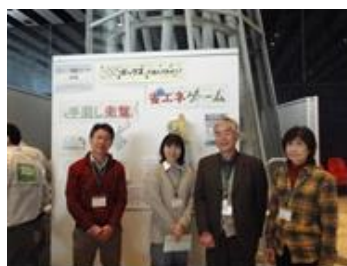
(2) 推進員研修の成果の実践の場として、推進員自身の企画運営によるイベント出展のサポートを行った。また、そのイベント出展へ新規推進員の加入を促し、新規推進員の活動の場の提供を行った。

推進員自身の企画運営によるイベント出展回数：1回

参加推進員：5名（うち新規推進員1名）



打ち合わせの様子



1/31 イベント出展当日

(3) 推進員研修をうけての実践の場として、地域イベントへの出展や環境講座等への講師派遣について、積極的に推進員を活用するとともに、ウェブや情報紙等にて推進員活動状況を広報した。

地域イベントへの推進員の活用：17件実施、のべ57名活動

講師派遣への推進員の活用：9件実施、のべ11名活用

ウェブや情報紙への推進員活動の掲載：13回（ストップ温暖化センターみやぎブログ9回、MELON情報紙4回）

※MELON情報紙ウェブURL：<http://www.melon.or.jp/melon/syuppanhanbai.html>

※ストップ温暖化センターみやぎブログURL：<http://blog.canpan.info/stopgwm/>



推進員だより（2015年9月発行：MELON情報紙114号）

推進員講師活動記事（11/24掲載）

③【地球温暖化防止活動を行う民間団体の活動実績調査および支援】（第24条第2項第1号後段）

(1) 過年度実施した一村一品事業や低炭素杯等に応募した団体、その他環境活動を行う学校・団体・企業等の調査、取材および低炭素杯2016への応募呼びかけ等を行った。さらに、応募における助言等のサポートを行うことで、応募団体の増加を図った。

団体調査・低炭素杯応募呼びかけ：14件実施

団体取材・応募のサポート：2件実施（宮城農業高校、せんだいE-Acion実行委員会）

(2) 低炭素杯2016において、ファイナリストとなった団体へのプレゼンテーションの助言等の事前のサポートを行う。また、低炭素杯当日のファイナリストへのサポートや取材を行った。

低炭素杯取材：1件実施（スモリ工業株式会社）

(3) 以上の調査・取材結果を取りまとめ、ストップ温暖化センターみやぎのブログに掲載した。

※ストップ温暖化センターみやぎブログURL：<http://blog.canpan.info/stopgwm/>

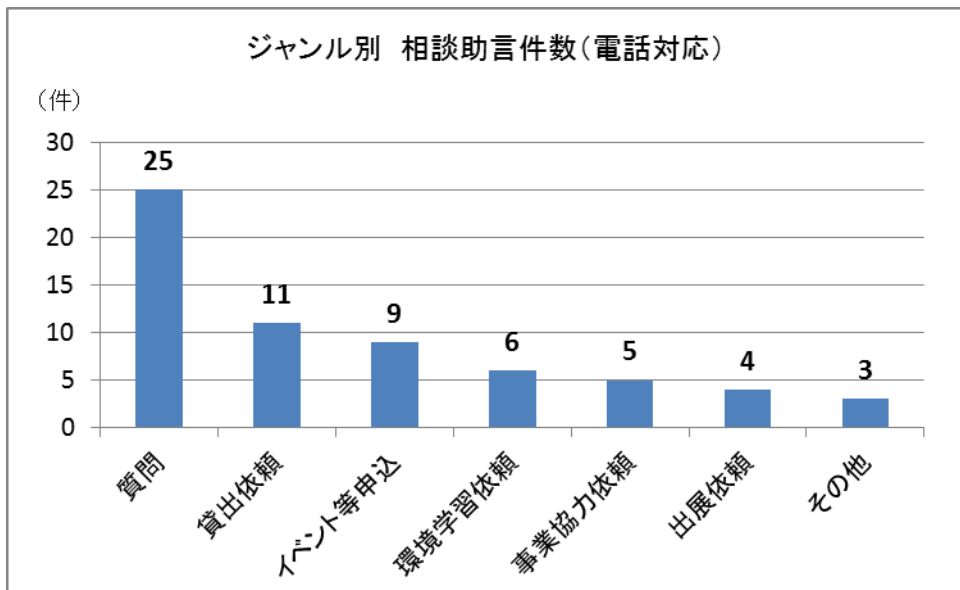
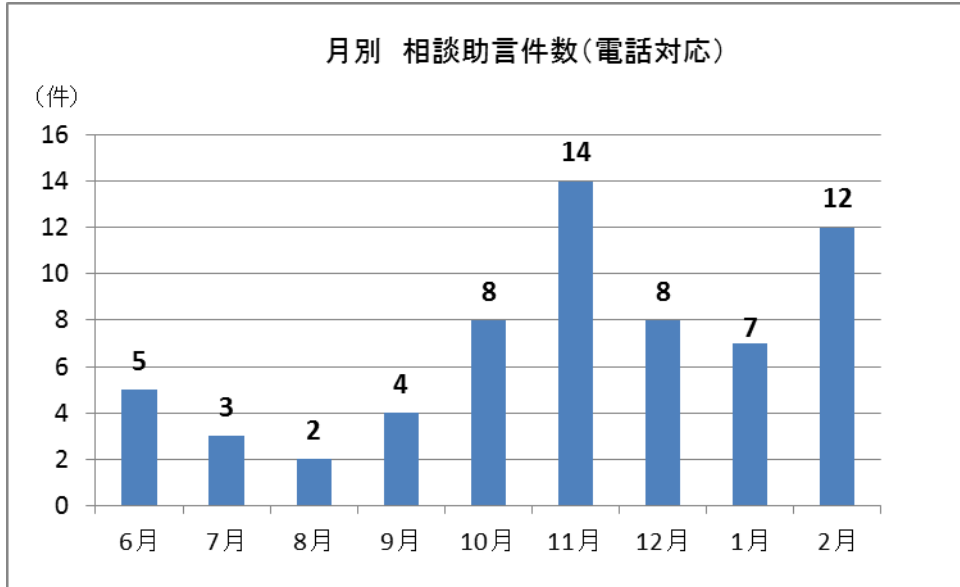


宮城農業高校取材記事（9/4掲載）



低炭素杯取材（2/17）

- ④【日常生活に関する温室効果ガスの排出の抑制等のための照会・相談・助言業務】(第24条第2項第2号)
 地域の日常生活に関する温室効果ガスの排出の抑制等のための措置について、主に電話対応にて、地域住民等からの環境学習や事業に関する問い合わせ・照会・相談について、回答・助言を行った。実施実績は63件。
 月別およびジャンル別の内訳を以下表に示す。



- ⑤【温室効果ガスの排出実態の把握、分析業務】(第24条第2項第3号、第24条第2項第4号)
 地域の日常生活に関する温室効果ガスの排出の抑制等のための措置について、温室効果ガスの排出実態について調査を行い、当該地域における温室効果ガス排出実態の把握・分析等を行った。
- (1) 2012年から2015年にかけて実施した「家庭エコ診断基盤整備事業」における宮城県内のデータを解析し、家庭の温室効果ガスの排出実態の把握・分析を行った。
 - (2) 以上の結果を取りまとめ、ストップ温暖化センターみやぎのウェブサイトへ掲載した。

⑥【指定団体等への施策の協力・連絡調整会議の設置、運營業務】（第24条第2項第5号、第24条第3項）

地域センター事業について、関係各所との連絡調整を行うとともに、当該年度にかかる事業の成果についての検証・評価を行うため、下記の「宮城県温暖化防止活動連絡調整会議」を設置した。ストップ温暖化センターみやぎがが開催運営等の事務局として、3回開催した。

(1) 構成員

	氏名	所属など
1	阿部 育子	個人、MELON 評議員
2	伊藤 卓雄	個人、MELON 会員
3	打矢 正人	東北電力株式会社宮城支店企画管理部門部長（企画担当）
4	小野寺 むつ子	宮城県地球温暖化防止活動推進員
5	門田 陽子	個人、MELON 理事
6	菅野 一郎	みやぎ環境カウンセラー協会理事
7	菊地 敏子	個人、宮城県地球温暖化防止活動推進員、MELON 理事
8	昆野 加代子	みやぎ生活協同組合生活文化部
9	佐藤 剛	個人、MELON 会員
10	佐藤 俊彦	NPO 法人環境会議所東北
11	関野 博朗	一般財団法人省エネルギーセンター東北支部 事務局長
12	田中 知代子	仙台市環境局環境部環境都市推進課 課長
13	中田 俊彦	東北大学大学院工学研究科 教授
14	長谷川 公一	東北大学大学院文学研究科 教授、MELON 理事長
15	深谷 愛衣	東北大学環境サークルRNECS

<オブザーバー>

1	大場 健一	山形県地球温暖化防止活動推進センター センター長
2	横田 豊	宮城県環境生活部環境政策課 課長

(2) 開催実績

	開催日	出席者数	内容
第1回	2015年 6月17日(水) 18:00~20:00	構成員10名 オブザーバー2名 事務局5名	1. 平成27年度委託・補助事業等の実施計画 2. 協議事項「当センターのあり方」 3. 話題提供「みやぎ環境税」(横田豊氏)
第2回	2015年 10月21日(水) 18:00~20:00	構成員10名 オブザーバー1名 事務局5名	1. 平成27年度委託・補助事業等の中間報告 2. 協議事項「当センターの基本計画について」 3. 話題提供「COP21の展望」(長谷川公一氏)
第3回	2016年 2月24日(水) 18:00~20:00	構成員11名 オブザーバー1名 事務局4名	1. 平成27年度委託・補助事業等の評価 2. 協議事項「平成28年度事業について」 3. 話題提供「エネルギーフロー」(中田俊彦氏)



6/17 第1回



10/21 第2回



2/24 第3回

<事業を実施したことによる効果>

【地域における地球温暖化防止活動の取組への効果】

※補助事業を実施したことによる効果や、目標に対する結果を記入する。

①【地域における地球温暖化の現状及び対策の推進状況等の啓発・広報業務】

地域イベントへの出展や環境講座への講師派遣による県民と直接のコミュニケーションを通し、地域に根差した県民目線による直接的な啓発・広報を行うことで、県民の地球温暖化対策の実践を促すことができた。

特に、地域イベントと環境講座は、目標値を大幅に上回る実績を達成することができた。

<実施実績>

	実績	目標	達成率
(1) 地域イベントでのブース来場者	1,100名	500名	220%
(2) 環境講座での受講者	875名	100名	875%
(3) アンケート回収	236名	250名	94%
(4) IPCC 関連イベント参加者	66名	70名	94%

②【地域地球温暖化防止活動推進員の支援】

推進員勉強交換会の開催により、普及啓発のための実践的なノウハウをもつ推進員を増やし、推進員自らの企画によるイベント出展等の実践を促すことができた。推進員勉強交流会の参加者や実践の場の提供は、当日の推進員の都合等により目標に達しなかったもの、地域イベントや講師派遣への推進員の活用や、ウェブ等での推進員活動の掲載は目標を大幅に上回る事ができた。

<実施実績>

	実績	目標	達成率
(1) 地域イベントへの推進員の活用	17件 (57名)	5件 (15名)	340% (380%)
(2) 講師派遣への推進員の活用	9件 (11名)	5件 (5名)	180% (220%)
(3) ウェブや情報紙への推進員活動の掲載	13回	10回	130%
(4) 推進員勉強交流会の参加者	76名	120名	63%
(5) 実践の場の提供	1回 (5名)	2回 (12名)	50% (42%)

③【地球温暖化防止活動を行う民間団体の活動実績調査および支援】

団体調査や低炭素杯の取材等を通し、これまでつながりのあった団体とのつながりも強化されたほか、これまでつながりのなかった団体との新たなネットワークが生まれた。ネットワークの拡大により、今後の活動の幅の拡大が見込まれる。

④【日常生活に関する温室効果ガスの排出の抑制等のための照会・相談・助言業務】

問い合わせ対し、迅速かつ的確な助言を行い、相談者の疑問解決や要望に応えことで、県内の地球温暖化防止活動の実践推進に寄与することができた。

⑤【温室効果ガスの排出実態の把握、分析業務】

宮城県の家計における温室効果ガスの排出実態を把握することができ、またその結果を取りまとめてウェブサイトにて広く公開することで、県民への啓発効果を高めることができた。

⑥【指定団体等への施策の協力・連絡調整会議の設置、運営業務】

3回の会議実施により、構成員とのネットワークや情報の拡充を促進し、センター事業の運営を円滑に進めることができた。

《CO₂の削減》(必須)

CO₂削減量: 147,286 (t)

削減量の測定方法 (計算式等)

地域イベント等にて、地球温暖化防止普及啓発に関するブース出展を行い、来場者に地球温暖化防止と省エネ行動実践を促した。あわせて、全国ネットが実施する「統一アンケート」または、当センターの「独自アンケート」を実施した。内訳を以下に示す。

1) 統一アンケート: 5回実施、のべ131名回答

	開催日	イベント名	回答者数 (名)	削減量 (t)
1	10/11 (日)	りふ環境まるごとフェア	16名	10,423
2	10/18(日)	大河原オータムフェスティバル	29名	20,959
3	10/25 (日)	せんだい地球フェスタ 2015	49名	28,337
4	10/31 (土)	第3回推進員勉強交流会	14名	9,000
5	11/29 (日)	環境フォーラムせんだい 2015	23名	14,719
合計			131名	83,438

2) 独自アンケート：5回実施、のべ105名回答

	開催日	イベント名	回答者数 (名)	削減量 (t)
1	6/13 (土)	せんだい E-Action イベント「3Eを始めよう！」	20	15,887
2	7/19 (日)	エコチャレンジフェスタ in ユアスタ仙台	30	20,047
3	9/6 (日)	はやぶさ祭り	20	10,561
4	9/23 (水・祝)	魅力いっぱい！交通フェスタ 2015	30	15,972
5	10/4 (日)	しちがはま環境フェスタ	5	1,381
合計			105	63,848

※独自アンケートの削減量の測定方法

- ①「評価手法に活用可能な CO₂削減量の原単位 (80 項目)」（JCCCA 提供）より、15 項目程度を抜粋し、アンケート用紙を作成した。
- ②地域イベント等にて、当センターが出展する温暖化防止啓発に関するブース来場者を対象に、アンケートを実施した。
アンケート内容：15 項目程度の省エネ行動の一覧中から、これから新たに取り組みたいと思う項目を来場者自身が選びシールを貼る。
- ③ブース来場者が選択した項目と選択数により、ブース出展したことによる CO₂削減効果の値を算出した。